

# 自宅開放で長い支援

アジアの女性や障害者が  
作った手作り製品を販売、  
業訓練施設などに還元して



ひと・奈良・ひと

いる「チョウタリイ」店主  
山口悦子さん(西六)奈良市  
あやめ池南五。昨年九月か  
ら自宅の一部を、店舗のほ  
かボランティア団体などの  
集会場として開放してい  
る。  
「チョウタリイ」とはネ  
パール語で、人々が集まり  
休息し、新たな可能性に向  
けて巣立ってゆく場、とい  
う意味。名前の通り留学生

やガールスカウト、近所の  
お年寄りたちの憩いの場と  
して、にぎわっている。

「単発的にお金を送るよ

りも、商品を通じて彼らの  
技術や考え方を知り、互い  
に認めあつてこそ支援も長  
続きすると思つたんです」  
六年ほど前、ネパール人  
一家三人をホームステイに  
迎えたのがきっかけで、国  
際交流に興味をもつた。以  
来、バザーやフリーマーケ  
ットなどで同国の民芸品を  
販売しては収益を寄付する  
うちに「もっと継続的に多

彩な活動をしたくなった」  
という。  
「ボランティアは人助け  
であると同時に、私のよう  
なごく普通の主婦の自己実  
現のきっかけでもあるんで  
す。いろんな人と知り合え  
るのが楽しくて」と語る。